

農産物の残留農薬検査結果(令和2年11月)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和2年11月に健康福祉局食品専門監視班が収去した市内産農産物の検査結果を報告します。

11月に収去された、キャベツ3検体、かぶの根及びだいこんの根各2検体、かんしょ1検体の計8検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。いずれの検体からも農薬は検出されませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 農産物の残留農薬検査結果

(令和2年11月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
かぶの根	横浜市	2	0			
かんしょ	横浜市	1	0			
キャベツ	横浜市	3	0			
だいこんの根	横浜市	2	0			
合計		8	0			

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物		農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物	
		A	B			A	B
BHC(α,β,γ及びδの和)	0.005	—	○	クロルピリホスメチル	0.01	○	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和)	0.005	○	○	クロルフェナピル	0.01	○	○
EPN	0.01	○	○	クロルプロファム	0.01	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	クロロクソン	0.01	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	シアゾファミド	0.01	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	シアノフェンホス	0.01	○	○
アラクロール	0.01	○	○	シアノホス	0.01	○	○
アルドリル及びディルドリン	0.005	—	○	ジエトフェンカルブ	0.01	○	○
イソキサチオン	0.01	○	○	ジコホール	0.01	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	シハロトリン	0.01	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	ジフェノコナゾール	0.01	○	—
エトキサゾール	0.01	○	○	シフルトリン	0.01	○	○
エトフェンプロックス	0.01	○	○	シフルフェナミド	0.01	○	—
エポキシコナゾール	0.01	○	○	シプロコナゾール	0.01	○	○
エンドスルフアン(α及びβの和)	0.005	○	○	シベルメトリン	0.01	○	○
エンドリン	0.005	○	○	ジメトエート	0.01	○	○
オキサミル	0.01	○	○	ジメトモルフ	0.01	○	○
カルバリル	0.01	○	○	シラフルオフエン	0.01	○	○
カルプロパミド	0.01	○	○	ダイアジノン	0.01	○	○
クミルロン	0.01	○	○	ダイムロン	0.01	○	○
クレスキシムメチル	0.01	○	○	チアクロプリド	0.01	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	チアトキサム	0.01	—	○
クロマフェノジド	0.01	○	○	テトラコナゾール	0.01	○	○
クロルピリホス	0.01	○	○	テブコナゾール	0.01	○	○

表 2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物		農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物	
		A	B			A	B
テブフェノジド	0.01	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	フルジオキソニル	0.01	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	フルシトリネート	0.01	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	フルトラニル	0.01	○	○
トリチコナゾール	0.01	○	○	フルバリネート	0.01	○	○
トリフルラリン	0.01	—	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○
トリフロキシストロビン	0.01	○	○	フルリドン	0.01	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	プロシミドン	0.01	○	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	プロチオホス	0.01	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	プロパホス	0.01	○	○
パラチオン	0.01	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	プロピザミド	0.01	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○
ピリダベン	0.01	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○
ピリプロキシフェン	0.01	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	—	○
ピリミカーブ	0.01	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○
ピリミノバックメチル	0.01	○	○	ペンコナゾール	0.01	○	○
ピリミホスメチル	0.01	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○
フィプロニル	0.002	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○
フェナリモル	0.01	○	○	ボスカリド	0.01	○	—
フェニトロチオン	0.01	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○
フェノブカルブ	0.01	○	○	マラチオン	0.01	○	○
フェンクロルホス	0.01	○	○	マイクロブタニル	0.01	○	○
フェンスルホチオン	0.01	○	○	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○
フェントエート	0.01	○	○	メチダチオン	0.01	○	○
フェンバレレート	0.01	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○
フェンピロキシメート	0.01	○	○	メトラクロール	0.01	○	○
フェンブコナゾール	0.01	○	○	リニューロン	0.01	○	○
フェンプロパトリン	0.01	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.005	○	○
フサライド	0.01	○	○	ルフェスロン	0.01	○	○
ブタフェナシル	0.01	○	○	レナシル	0.01	○	○

A:かぶの根、キャベツ、だいこんの根 B:かんしょ

○:実施、—:実施せず

DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】